


令和8年度エコやまぐち生産計画情報

令和8年5月20日現在

生産者	区分	品目	
有限会社 石川果樹園	エコ50	ぶどう	緑の森に囲まれた果樹園から美味しいフルーツをお届けします。
松原 篤志	エコ50	こまつな、しゅんぎく	防府市台道にて小松菜など葉物野菜を生産しています。基準に適合した栽培を実施していましたが、より一層、安心・安全な生産及び環境に配慮した野菜作りを実施します。
伊藤 章【あきらファーム】	エコ100	野菜（多品目）	安心・安全にこだわったおいしい野菜づくり
森田 幸男	エコ50	水稲	化学肥料の削減と有機肥料の効果的な使用により品質向上に努めます。
木下 嗣生	エコ100	水稲	私は今、81歳です。30歳を過ぎて農業を始めました。すると花粉症になりました。本で花粉症の原因の一つに農薬があると知り、農薬の使用をやめると翌年から治りました。自分のためにも、社会のためにも農薬の使用をやめる決意をしました。ついでに化学肥料の使用もやめてしまえと今に至っております。そして、それが気候変動防止のためでもあると思っております。同じ思いの人が殖えることを願っております。
	エコ100	野菜	
粟屋 怜【あわや自然農園】	エコ100	野菜（多品目）	有機・農薬不使用栽培25年目になりました。全面有機・農薬不使用で暮らしております。
		水稲	
		茶	
		ゆず	
		きんかん	
		さんしょう	
福本 直樹【ふくじろう】	エコ100	ぶどう	除草剤は使用せず、ほ場内の植物や生き物の多様性を維持するよう心がけて栽培しています。
	エコ50	ぶどう	
金井 英明	エコ100	水稲	
(有)鹿野アグリ	エコ50	水稲	私たちは循環型農業に取り組み持続可能な農業生産を続けていきます。肥料・農薬の使用量を減らして消費者の方たちに安心・安全な農産物を安定供給していくことを目指していきます。
ニーチェの畑	エコ100	野菜（多品目）	自然環境を守る野菜作りを目指します。
河村 和彦	エコ50	野菜（多品目）	自然環境に配慮した農作物の生産により持続可能な農業を次世代に繋げていきます。機能性の高い農作物を提供することにより、生活者の健康維持に貢献します。食と農のコミュニケーションにより、食育活動や地域農業の振興に取り組みます。
	エコ100	カリフラワー	
佐波川流域集落営農株式会社	エコ100	水稲	刈り取った稲わらのみを還元して古くから栽培されている旭・農林22号・緑万葉もちを栽培しています。人にも環境にも優しい農業を目指します。
神徳 治雄	エコ100	水稲	農薬や化学肥料の使用により多くの昆虫や生物が影響を蒙っています。農薬と化学肥料をまったく使わないことによって自然環境の維持と再生を追い求めます。
川口 道則 【川友みらいファーム】	エコ100	水稲	<p>エコやまぐち100に則ったお米づくりです。化学農薬、化学肥料などの化学物質は使用しません。また乾燥はハゼかけ天日干し。省エネも進め、農業を行っています。</p> <p>栽培状況はInstaに掲載しています。皆さんチェック下さい！！ ⇒【川友みらいファーム】で検索！</p>  <p>@KAWATOMO_MIRAI_FARM</p>

生産者	区分	品目	
J A山口県南すおうアスパラガス部会	エコ50	アスパラガス	J A山口県南すおうアスパラガス部会は柳井市・平生町・田布施町・光市（旧大和町）地域で生産されたアスパラガスです。 有機肥料を主体とした栽培をしているので、やわらかくとてもおいしく召し上がれます。また、農薬使用回数を県基準よりも50%以上削減する事で人にも環境に配慮した栽培を行っています。
霜田 洋治	エコ50	水稲	濁水の排水を出来るだけ抑えます。
幸田 太	エコ50	水稲	私は、地域との連携と協力のもと、土づくり、化学肥料・化学農薬の使用削減に取り組み、適正な生産に努めます
中野 勝正	エコ50	水稲	濁水の排出を出来るだけ抑えます。 有機質肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正量での効果的な使用を心がけています。
岩元 浩一	エコ50	水稲	令和8年度は、パーク堆肥を春まきしてすき込み化学肥料の利用を削減し、また減農薬でひとめぼれときぬむすめを栽培します。 パーク堆肥を活用して田んぼの生き物にも極力優しく景観も大切にしたい循環型農業を行います。
J A山口県産直部会嘉川班 大葉生産グループ	エコ100	しそ	安心安全な物作りを目指します。
小倉 崇【TKO Farm】	エコ50	水稲	子供たちに安全な食事の提供のため自然環境に配慮した地球に優しいお米づくりを目指して頑張ります。
松本 司【ないだ農園】	エコ50	みかん	周防大島の恵まれた環境の中で、人と畑と自然に気づかい、健康で美味しい野菜や果物を作っていきたい。
村川 悦夫	エコ50	水稲	自然環境に配慮し、濁水の排出をできる限り低減します。 有機肥料と化学肥料の性質を考慮し、適正量で効果的な使用を行うことで、使用量の低減を図ります。エコやまぐち特別生産米は主に鶏糞を使用した自然由来の有機肥料のみの栽培を計画します。また、対象農地以外でも同様の基準により生産します。
佐伯 博	エコ50	水稲	農薬を減らし、消費者の皆様へ安心安全なお米を販売します。
農事組合法人 周防江崎	エコ50	水稲	減農薬を徹底し、安心安全なお米の生産を心がけ、消費者の皆様へお届けします。